



大阪国際空港にて地震避難訓練を実施

関西エアポート株式会社は、2018年11月7日（水）に大阪国際空港にて地震避難訓練を実施いたします。

本訓練では、南海トラフ巨大地震（M9.0）が発生し、大阪国際空港にて震度6弱を観測した場合を想定して、ターミナルビル館外の避難場所への避難等を行います。加えて、非常用多言語拡声装置（メガスピーク）及び階段避難車（イーバックチェア）の検証も行い、より実際の状況を想定した訓練も行います。

この訓練を通して、関係機関との連携を図るとともに、地震発生時の適切な初動対応を確認することで、空港従業員の防災意識の向上、空港の安全・安心な運用に努めてまいります。

関西エアポートグループは、引き続きお客様の旅を支える安全の確保と、空港を安心して利用いただけるよう様々な訓練を続けてまいります。

【地震避難訓練】

○主催：大阪国際空港ターミナルビル共同防火・防災管理協議会

○日時：2018年11月7日（水）15:00～16:30

○場所：大阪国際空港 旅客ターミナルビル

○参加予定：約60事業所・約150人 ※一般参加なし

○訓練想定：南海トラフ巨大地震（M9.0）が発生し、大阪国際空港にて震度6弱を観測

- 訓練項目
- （1）シェイクアウト訓練
 - （2）地震発生時の避難及び避難誘導訓練 ※非常用多言語拡声装置（メガスピーク）使用
 - （3）初期消火訓練
 - （4）負傷者搬送訓練 ※階段避難車（イーバックチェア）使用
 - （5）消火器取扱い訓練
 - （6）搬送・応急手当訓練
 - （7）AED取扱い訓練

○訓練の様子(イメージ)



シェイクアウト訓練



消火器取扱い訓練



非常用多言語拡声装置使用

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 広報・ブランディングチーム
Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、36空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億5,660万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構